

地熱染めの彩をバッグに

地域観光実践授業で作成したバッグを販売

平館高生が地域の魅力を発信しようと作成したオリジナルバッグ限定10個が2月22日から29日の1週間、平館のNollegrettoで販売され、完売しました。

家政科学科3年の7人が地熱染色研究所とコラボし、染色布を活用したオリジナル商品の開発から制作、PRチラシの作成に至るまでトータルで挑戦。コーディネーターを務めた鈴木絵美さんは「生徒自らが制作から発信まで行い、ビジネスの流れにも触れることができた」と生徒の成長に目を細めました。



地熱発電に対する理解促進事業報告会で取り組みを発表



活動の様子を紹介する田山実践区の生徒・児童

地域一体で子どもを育む

市教育振興運動推進大会

市教育振興運動推進大会は2月22日、安代小で開かれ、実践区単位で取り組んだ今年1年間の活動発表や三行詩の表彰などが行われました。

今回、初めて地域組織の発表が企画され、大更コミュニティセンターが、大更小育成会とのタイアップ事業を紹介しました。

同運動は、地域の教育課題の解決のため昭和40年から続く県独自の取り組みで、子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が連携して進めています。

交流の輪を応援の力に

オリンピックによるクロスカントリースキー教室

オリンピックによるクロスカントリースキー教室は2月27日、田山グラウンドで開かれました。

教室は、パラリンピックバイアスロン強化拠点機能強化事業の一つとして、同競技を知って応援してもらうことを目的に開催。参加した安代小と田山小のスポーツ少年団など約20人の児童は、元冬季五輪バイアスロン選手で日本障害者スキー連盟専任コーチの小館操さん(二戸市出身)の指導を受け、クロスカントリースキーへの理解を深めました。



児童らにクラシカル走法の手本を見せる小館さん(右)



入隊予定者3人を代表してあいさつする小山田優祐さん(3月14日、八幡平市自衛隊入隊予定者激励会)



岩手北部森林管理署と市主催のレクリエーションの森フォトコンテスト入賞作品が決定(3月12日、市役所)



市内14の小中学校で卒業式。新型コロナウイルス感染拡大を防止するため縮小開催(3月13日、西根中)